

お互いが考えていることを、直接、相手の頭の中に入れることができる新しい画像イメージ転送技術が生まれ、その技術を活用したサービス「TUTAE」が、明日、一般に向けて提供されることになりました。



① 「TUTAE」を利用する前に、確認しておくべきことはなんですか。

② 「TUTAE」を使うことで、どのようなリスクやメリットが考えられるでしょうか。



! 新しい情報技術とどうつきあうか

き

基本的な仕組みや規約を知る

り

自分や他者、社会にとってどんなリスクがあるかを想像する

り

上手な利活用の方法を考える

これからも新しい情報技術が生まれ、様々なサービスが生まれてきます。こうした新しい情報技術やサービスを上手に活用するために、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。

キーワードは、「きりり」です。

まずは、「き：基本的な仕組みや規約を知る」ことです。例えば、前ページ「TUTAE」では、画像イメージ転送技術を活用していますが、18歳以上しか使えない上に利用料が月に1万円がかかるかもしれません。こうした仕組みや規約を確認することがまずは重要です。

次に、「り：自分や他者、社会にとってどんなリスクがあるかを想像する」ことです。例えば、「TUTAE」では、勝手にいろいろな人からメッセージが送られてくるといったリスクがあるかもしれません。こうしたリスクを想像しておくことが重要です。

最後に、「り：上手な利活用の方法を考える」ことです。例えば、「TUTAE」を使えば、災害時に助ける場合や困っていることを口では言いにくい場合に活用できるかもしれません。

このように、新しい情報技術とつきあう場合には、「きりり」を意識して、リスクと上手な活用を考えてみましょう。

生成AIとの上手なつきあい方を考えてみましょう。

テキスト生成



質問を入力すると、AIが質問の内容を解析して、回答を生成する

画像生成



テキストの内容に応じて、AIがもっともらしい画像を生成する

動画生成



テキストで生成したいイメージを入力すると、そのイメージに沿った短い動画を生成する

音声生成



音声データを入力するとその音声の特徴を学習し、新しい音声データを生成する

3 「生成AI」を利用する前に、確認しておくべきことはなんでしょうか？ 実際に確認してみましょう。

4 「生成AI」を使うことで、どのようなリスクやメリットが考えられるでしょうか？

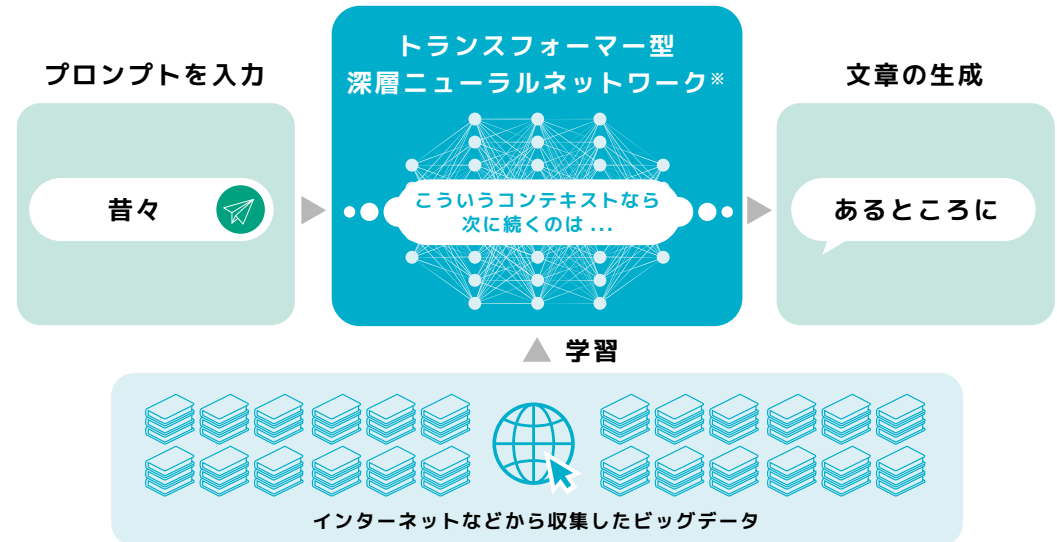


生成AIの仕組み

生成AIは、ユーザーからのプロンプト（指示や質問）を受け取ると、ニューラルネットワークを通じて処理を行います。

ニューラルネットワークは、データベースやインターネットなどから取得した大量のデータを元に、関連する情報を組み合わせて新しいコンテンツを生成します。ニューラルネットワークの中でも、トランスフォーマー型深層ニューラルネットワークという仕組みにより、大量の文章を参照しつつ、注目すべき情報に注意を向けられるため、高い精度で文章を生成することが可能となりました。

最終的には、この生成されたコンテンツをユーザーに提供することで、質問に答えたり、新しいアイデアを提供したりします。



出典：CDRS「対話型生成系AIの概要と課題」

！ 生成AIの主なリスク

事実とは異なる内容や、文脈と無関係な内容が生成されることをハルシネーション（幻覚）と呼びます。インターネットなどから収集したビッグデータを学習するため、生成されたデータに偏りや誤った情報、古い情報が含まれてしまう可能性があります。

例えば、キャリア教育の一環として仕事について質問してみると、〇〇の仕事は男性的、〇〇の仕事は女性的などの職業における誤ったジェンダーバイアス（性別による偏見）が見られることがあります。

今後は、こうしたバイアス（偏見）があると認識しながら、生成AIを使う必要があります。